

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 (製品名)	Nano Oil Stabilizer		
会社名	Nano ProMT LLC		
住所	7427 Matthews-Mint Hill Road, Suite 201 Charlotte, NC 28227		
担当者 (作成者)	Chris Hunter		
電話番号	情報なし		
緊急連絡電話番号	(704) 408-3641		
Part No.	NDT5OS, NDT32OS	料金コード	2710.19.3040
整理番号	NDT5OS, NDT32OS		

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

GHS分類基準に該当しない。

健康に対する有害性

発がん性

区分1B

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

区分2 (肺)

環境に対する有害性

GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれ。臓器 (肺) の障害のおそれ。

注意書き

安全対策

子供の手の届かないところに置くこと。使用前にラベルをよく読むこと。使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

混合物の3.56 % は急性経口毒性未知の成分である。混合物の3.56 % は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の51.78 % は急性吸入毒性未知の成分である。混合物の51.78 % は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。混合物の51.78 % は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

NOTE: This product is a consumer product and is labeled in accordance with the US Consumer Product Safety Commission regulations which take precedence over OSHA Hazard Communication labeling. The container label may not include the OSHA label elements listed in this document. Always carefully review the entire SDS and the product label prior to use in the workplace.

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な兆候

咳。胸部不快感。息切れ。

想定される非常事態の概要

臓器の障害のおそれ。発がんのおそれ。これはラベルの指示に従って使用すれば消費者にとって安全な、消費者向けケア用品である。多くの消費者製品と同様に、長期にわたるまたは繰り返しの皮膚接触、あるいは眼への接触により発赤、皮疹および/または膨潤を起こす人が少数存在する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
蒸留(石油), 溶媒精製重パラフィン系類	64741-88-4			45 - 50
報告量を下回るその他の成分				50 - 55
化学式	UVCB (Unkown, Variable, Complex, Biological) (変動組成の化学物質、複雑な反応生成物及び生物産生物質) (64741-88-4)			

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
目に入った場合	水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	咳。胸部不快感。息切れ。
応急措置をする者の保護	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

消火剤	泡消火剤。乾燥粉末。二酸化炭素 (CO ₂)。
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火を行う者の保護	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。人体の保護具については第8項を参照。
環境に対する注意事項	下水や水路、地面に排出しない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水を噴霧し、蒸気を減少させるか蒸気雲の流れの向きを変える。 大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出：吸収材(例：布、フリース)で拭き取る。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。Put material in suitable, covered, labeled containers. 廃棄物処理については本SDS第13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ミスト又は蒸気を吸入しないこと。長時間の接触を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。取扱い後は手をよく洗うこと。産業衛生に気を配る。本SDS第8項で推奨されている個人用保護具を使用すること。
接触回避	より詳しい情報については第10項を参照。
適切な衛生対策	あらゆる医学的監視要件を遵守すること。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
保管	
安全な保管条件	施錠して保管すること。子供の手の届かないように保管すること。混触危険物質（本SDS第10項を参照）から離して保管すること。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値）および管理濃度

日本産業衛生学会 - 許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
蒸留(石油), 溶媒精製重パラフィン系類 (CAS 64741-88-4)	TWA	3 mg/m3	ミスト。

ACGIH

成分	タイプ	数値	形状
蒸留(石油), 溶媒精製重パラフィン系類 (CAS 64741-88-4)	TWA	5 mg/m3	吸入性画分

設備対策	適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。
------	---

保護具

呼吸器の保護具	有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。
手の保護具	適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。
目の保護具	有機蒸気吸収缶付き全面形面体化学用マスク。
皮膚及び身体の保護具	不浸透性エプロンの使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態	液体。
形状	液体。
色	データなし。

臭い	Petroleum
----	-----------

pH	データなし。
----	--------

融点・凝固点	データなし。
--------	--------

沸点、初留点と沸騰範囲	360 °C (680 °F) 推定値
-------------	---------------------

引火点	135.0 °C (275.0 °F) 推定値
-----	-------------------------

燃焼性（固体、ガス）	該当しない。
------------	--------

燃焼又は爆発範囲

燃焼範囲 - 下限(%)	データなし。
燃焼又は爆発範囲 - 上限	データなし。
爆発下限界（%）	データなし。
爆発上限界（%）	データなし。

蒸気圧	データなし。
-----	--------

蒸気密度	データなし。
------	--------

比重（相対密度）	0.88
----------	------

溶解度

水溶性

データなし。

n-オクタノール / 水分配係数

データなし。

自然発火温度 (発火点)

260 °C (500 °F) 推定値

分解温度

データなし。

粘度 (粘性率)

データなし。

その他の情報

密度

7.30 lbs/gal 推定値

爆発性状

爆発物でない。

酸化能力

酸化性でない。

10. 安定性及び反応性

反応性

本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学安定度

通常状態で安定。

危険有害反応可能性

一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

混触危険物質との接触。

混触危険物質

強酸化剤。

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

知見なし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性

呼吸器感作性物質でない。

皮膚感作性

この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異原性

本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性

発がんのおそれ。

ACGIH発がん性物質

蒸留(石油), 溶媒精製重パラフィン系類 (CAS 64741-88-4) A2 ヒトに発がん性の疑いあり。
A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

NTP発がん性物質レポート

蒸留(石油), 溶媒精製重パラフィン系類 (CAS 64741-88-4) ヒト発がん性があることが知られている物質。

生殖毒性

この製品は、生殖影響または発生影響を引き起こすとは予想されない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

臓器 (肺) の障害のおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

分類基準に該当しない。

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報

生態毒性

この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。

残留性/分解性

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

本生成物のデータはありません。

オゾン層への有害性

データなし

他の有害影響

その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。

13. 廃棄上の注意

適用され規則に準拠して廃棄しなければならない。

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない（「廃棄上の注意」参照）。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物 / 容器を地域 / 地方 / 国 / 国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA	危険物には該当しない。
IMDG	危険物には該当しない。
MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送	未確定。
国内規制	国内輸送については 15 章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	
通知対象物	該当せず。
表示対象物	該当せず。
毒物及び劇物取締法	
特定毒物	該当せず。
毒物	該当せず。
劇物	該当せず。
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	
第一種特定化学物質	該当せず。
第二種特定化学物質	該当せず。
監視化学物質	該当せず。
優先評価化学物質	該当せず。
届出不要物質	該当せず。
化学物質排出把握管理促進法	
特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)	該当せず。
船舶安全法・危規則	該当せず。
航空法・施行規則	該当せず。
火薬類取締法	
該当せず。	

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月
JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本製品安全データシートの内容は、発行時点において、正確を期して記載しております。記載された情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、排出の手引きとして作成されたものであり、保証または品質の仕様ではありません。この情報は、記載された特定の物質にのみ関連したものであり、そのように明記されていない限りは、この物質が他の物質と一緒に使われた場合やその他の処理には当てはまりません。

改訂情報

本MSDSは大幅に変更されたため、改めて全文をお読みください。